

転倒予防川柳2024 入選作品

令和六年度の転倒予防川柳への多数のご応募ありがとうございました。全国から九三七作品の応募がありました。入選作品および入選された方は次の通りです。(順不同・敬称略)

大賞

ちらかった へやにころがる ものわたし

(小野莉歩 和歌山県)

移動スペースに物がちらかっていると、つまづいたり、誤って踏んでしまったりして転倒してしまいます。そして転倒すると物も自分も転がってしまうという、よくある状況を詠んでいます。自宅での転倒場所が一番多いのは多くの時間を過ごす居間と言われていますが、特に居間では必要のないものは片付けたり、壁にかけるなどして、移動スペースは物が無い状態にしておきましょう。転倒の要因には運動要因、環境要因、行動要因がありますが、この句は転ばないための環境を整えることの大切さを詠んだ句であり、どなたでもすぐに取り組める内容となっています。

厚生労働省特別賞

なぜここで 脚力低下 知る勇氣 (西川只幸 神奈川県)

佳作 手をつなぐ 昔恥ずかし 今必死 (吉野信幸 埼玉県)

衰えを 置のへりが 狙ってる (桃李 静岡県)

準佳作

気をつける すこしの段差と オレオレに (まろりん 島根県)